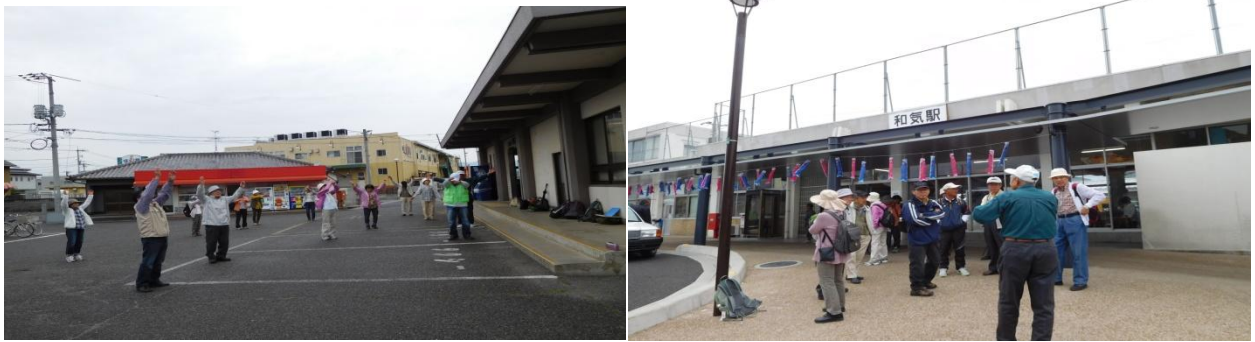


今月は、ゴールデンウィーク内の第一週の土曜日を避けて、第二週の 9 日の土曜日実施となる。行き先は、藤の満開を期待して「和気の藤見」を計画していたものの、今年的气候は例年より早く温暖化が進んで咲き終える頃になってしまった。

◇早朝の小雨も止んで涼しいウオーク日和になる。24 名のものが高松駅前準備体操をして、吉備線・山陽本線と乗り継いで 8 時 43 分和気駅前に出る。



◇9 時、駅前から和気富士を仰ぎ見ながら、片上鉄道口マン街道を北上する。



◇交通公園に着き見学の後、田原井堰行きをやめ、園内で旧田原用水の「石の懸け樋」の話をする。



◇県道 414 号線に出て、鶴飼谷温泉のそば横を通過して北上し、峠を超え県道 46 号線に出る。



◇道に迷いながら藤公園に着き、昼食、記念写真を撮る。



◇歴史民俗館で、教育委員会専門官森元氏（M氏の娘婿）に説明を受け、隣にある和気神社に参拝。



◇公園を出て旧大国家住宅に寄り、森元氏の案内を受ける。時刻ぎりぎりの2時半、和気駅に帰る。



◇歩数、23,000歩余り。踏破距離15キロ余り。 ◇途中の道の間違いで時間を無駄にしたところもあって反省すべき点もあるが、曇り空のもと凌ぎやすい長距離のウォークができ、加えて和気教育委員会の森元氏の要領を得た解説を聞き得るものが多かった。多くのご協力に感謝したい。